

若年層のための移住・定住

「そうま」で描くミライ

進学や就職、結婚や子育てなど、人生の節目ごとに「どこで暮らすか」を考える機会が訪れる方は多いかと思えます。市は、皆さんの人生に寄り添い、市民の皆さんが充実した人生を送ることができるようであり続けるため、若年層のライフステージに合わせた支援を行っています。

今回の特集では、さまざまな経験を経て、20代で相馬市へイターン・Uターンすることを選んだ方へのインタビューのほか、移住・定住に関する市の支援制度などについてお知らせします。



相双五城信用組合
島 猛琉さん (前居住地：宮城県)

相馬市に来て、地域の温かさを感じています

—イターンで相馬市に就職したきっかけは？

私は小学生の頃、東京都から宮城県仙台市に引っ越し、その後仙台市で育ちました。高校卒業後、郡山市で昇降機保全関係の仕事に就きましたが、「違う仕事にも挑戦してみたい」と思い、スキルアップを兼ねて仙台市の専門学校に通いました。

前職の経験から、お客さまと直接コミュニケーションをとり、人の温かさを実感できるような仕事に魅力を感じていました。そのため、都市部から離れた場所の方がやりがいを感じられるのではと思い、就職活動を行っていたところ、相双五城信用組合の求人を見つけました。

—宮城県にはよく帰省しますか？

高校時代の友人に会うために、仙台市にはよく訪れています。電車一本で行けるので、休日には同じサッカー部に所属していた友人たちと集まり、サッカーやフットサルを楽しみ、むくもありません。社会人になって運動不足を感じることもあるので、スポーツは続け



学生時代にサッカーの試合で活躍する島さん

たいと思っています。
—今後の目標について教えてください。

仕事を通じて、地域の温かさや親密さを感じています。また、企業として益踊りなどの地域行事に参加することもあり、地域の一員として地域事業に参加している実感があります。地元の金融機関として、地域に愛され信頼される職員になりたいと思います。



お2人のインタビューのフルバージョンはホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



●成人式参加者へのインタビュー動画を公開しています

令和8年1月11日に行われた、成人式～二十歳のつどい～に参加した皆さんに、相馬市で育ったからこそ感じる魅力や、好きなおところについてインタビューを行いました。

YouTube 相馬市チャンネルで公開していますので、ぜひご覧ください。



市の支援制度など

移住・定住を考えている方などが利用できる以下のような制度があります。

【相馬市移住支援金】

東京圏からの移住者のうち、一定の要件を満たす場合に支援金を支給します。

●金額

▽単身 = 60万円

▽2人以上の世帯 = 100万円 など

【相馬市住宅取得支援事業補助金】

県外から相馬市に移住し住宅を取得する40歳未満の方に、補助金を支給します。

●金額 最大180万円

【相馬市地方就職学生支援金】

東京圏の大学または大学院を卒業・修了した学生が、県内で就職し市内へ移住する場合に、採用選考にかかった交通費と、移転に係る費用を補助します。

●金額

▽交通費 = 上限8,000円

▽移転費 = 実費または上限6万6,000円

【結婚新生活支援助成金】

結婚に伴う住宅の新築やリフォーム、アパートの賃貸に関する経費、引っ越し費用などを助成します。

●金額

▽夫婦が29歳以下の世帯 = 上限60万円

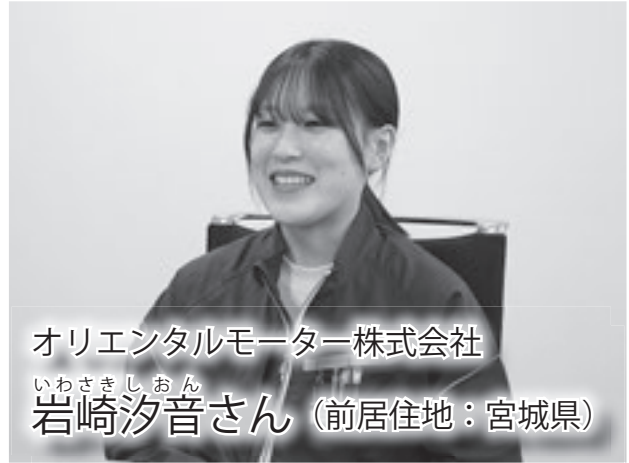
▽そのほか = 上限30万円 など

※掲載したもの以外にもさまざまな制度がありますので、詳細はホームページを確認または問い合わせください。

ホームページ
はこちらから



相馬で働きたいという 気持ちが強かった



オリエンタルモーター株式会社

いわさきしおん
岩崎汐音さん (前居住地：宮城県)

Uターンした経緯は？

私は相馬市出身で、高校卒業後は進学のため宮城県に転出しましたが、幼い頃に東日本大震災を経験し、「相馬市で働きたい」という思いがあったため、相馬市で就職しました。

オリエンタルモーターに就職したのは、高校生の頃のインターンシップがきっかけです。

休日の過ごし方は？

ライブに行くことが趣味です。推しているグループの公演を見るために、東京、北海道、新潟などさまざまな地域を訪れています。父の影響で好きになったグループのライブには、毎年のように家族全員で行っています。



趣味の旅行を楽しむ岩崎さん

父とはとても仲が良く、よく一緒に出かけます。洋服が好きというのも共通の趣味で、休日には一緒に服を買いに出かけることもあります。最近では車で一人旅に行くことも好きです。高校生の頃は家で過ごすことが多かったのですが、仙台に住んでから色々な刺激を受けて、外出することが好きになりました。

今後の目標について教えてください。

入社してから1年で、まだ付いていくのに必死ではあります。今後、先輩が入社してきた時には、先輩として自信をもって1人で業務について説明できるようにになりたいです。いつか「岩崎さんがいないと困る」と言ってもらえるのを目標に頑張りたいと思います。



「そうま移住定住総合窓口」では、若年層だけでなく、幅広い世代の方々が充実した人生を送れるよう、市職員がコンシェルジュとなって移住を全力でサポートしますので、気軽に相談ください。また、SNSなどを活用し、市外へ向けた情報発信を積極的に行っており、今後も市の魅力をさらにPRしていきます。

ホームページ
はこちらから



●問い合わせ先 そうま移住定住総合窓口 (企画政策課内) (☎ 32-1337)